

キャンプだホイ！2025 in 音江

開催期間

2025年7月29日(火)～31日(木)

宿泊地 ネイパル深川

美瑛の牧場に行って、動物と触れ合ったりします。詳細はこれからお知らせいたします。ぜひ参加のご検討を！



道央宣教セミ・ブロック機関紙

(札幌・小樽・苫小牧)

会 報

2025.5.1. No.416

札幌ハリストス正教会 発行



小樽ハリストス正教会

発行責任者 管轄司祭 エフREM後藤悠太

〒062-0042 札幌市豊平区福住2条2丁目3番1号

TEL:011-852-5644 FAX:011-856-0818

郵便振替 02790-8-4469

<http://www.orthodox-jp.com//>

E-mail haris-sp@bz01.plala.or.jp

ハリストス復活！ 実に復活！



2025年 札幌教会 復活大祭の様子



十字行



早課の始まり



聖歌隊



使徒経



各国語の福音



卵の成聖



食肉の成聖



祝賀会



皆さんは、聖神降臨(ペンテコステ)の出来事を覚えていらっしゃるでしょうか。

よみがえったイエスが天に昇られた後、弟子たちが集まって祈っていると、火の舌のようなかたちをとった聖神が弟子たち一人ひとりに下りました。そして、彼らは様々な言語で語り出したのです。

地球上に様々な言語があること、それはバベルの塔以来、一人ひとりが殻に閉じこもり孤立していること、互いに不和の状態にあり、愛がないこと、一致とはかけ離れていることの象徴でした。

しかし今や、聖神のもとに、ハリストスのもとに人々は教会において一致しています。

4月20日(日)、札幌教会で行われた復活大祭の聖体礼儀では日本語以外に、スラブ語、セルビア語、ジョージア語、ギリシャ語、インドネシア語と様々な言語で福音が読まれました。それは、私たちがよみがえったお方への信仰において、確かに一致したことの現れです。それは言わば、これから祝われる聖神降臨の先取りです。ハリストス復活！

婦人会だより

4月17日、復活祭の卵染めと聖堂のお掃除に16名の方が来て下さり、滞りなく済ませることが出来ました。ご奉仕ありがとうございました。

6月4日は草取りを予定しています。今年は6月21、22日東日本主教教区会議が札幌で開かれます。気持ちよくお迎えできますように聖堂、会館の周りをきれいにしたいと思えます。よろしくお願い致します。



聖傳機密

3月29日、聖傳機密を行い、魂と体の癒しの恵みをハリストスからいただきました。札幌教会で集団で聖傳機密を行う機会は初めてでしたが、10名以上の方が機密を受けられました。



イリネイ吉村繁二兄 永眠

4月22日(火)、函館教会のエカテリナ児玉マトシカのお父様であるイリネイ吉村繁二兄が永眠されました。88歳でした。長沼町のベルコ会館にて、4月24日(木)通夜パニヒダ、25日(金)に埋葬式が行われました。通夜パニヒダは児玉神父様によって行われました。埋葬式は光明週間の埋葬式が行われ、「ハリストス死より復活し・・・」と歌われながら、ハリストスの復活の喜びのうちに出棺されました。

マカリイ佐藤忠義兄 永眠

4月24日(木)、マカリイ佐藤忠義兄が永眠されました。27日(日)通夜パニヒダ、28日(月)に埋葬式が札幌市内の自宅にて行われました。84歳でした。